

2017年10月23日 全13頁

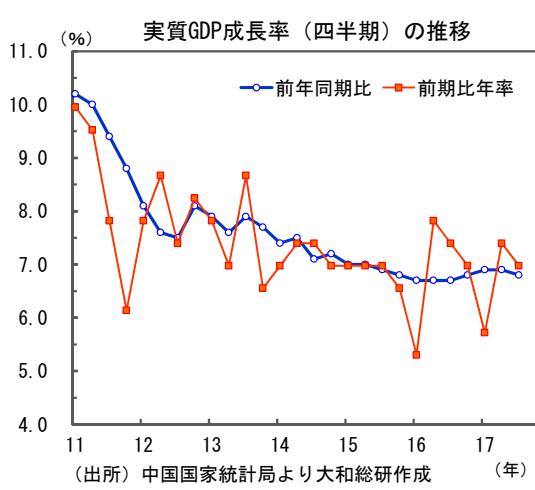
グラフで見る2017年9月の中国経済動向

経済調査部 研究員 永井 寛之

GDP

- ◆ 2017年7-9月期の実質GDP成長率は前年同期比6.8%と、4-6月期の同6.9%からやや減速した。前期比年率は7.0%と、4-6月期の同7.4%から低下した。1-9月の成長率は前年同期比6.9%であった。
- ◆ 1-9月期の需要項目別寄与度は、最終消費支出が4.5%pt、総資本形成が2.3%pt、純輸出が0.2%ptであった。16年と比較すると、総資本形成の寄与度が縮小した一方、純輸出の寄与度はプラスに転じ、最終消費支出の寄与度は拡大した。
- ◆ 1-9月期の産業別成長率を16年（実質GDP成長率は前年比6.7%）と比較すると、第一次産業（16年前年比：3.3%→17年1-9月期前年同期比：3.7%）や第二次産業（同：6.1%→同：6.3%）が加速する一方、第三次産業（同：7.8%→同：7.8%）は変わらなかつた。

実質GDP成長率、需要項目別寄与度



需要項目別実質GDP成長率寄与度（前年同期比）

	成長率(累計) %	最終消費支出 %pt	総資本形成 %pt	純輸出 %pt
2011年	10.2	6.1	3.8	-0.1
	10.1	5.1	4.6	0.1
	9.8	5.0	4.4	0.1
	9.5	5.9	4.4	-0.8
2012年	8.1	6.4	2.4	-0.7
	7.9	4.7	4.0	-0.9
	7.8	4.2	3.9	-0.4
	7.9	4.3	3.4	0.2
2013年	7.9	4.3	2.3	1.1
	7.7	3.4	4.1	0.1
	7.8	3.5	4.3	-0.1
	7.8	3.6	4.3	-0.1
2014年	7.4	5.5	3.1	-1.2
	7.4	4.0	3.6	-0.2
	7.3	3.6	3.0	0.8
	7.3	3.6	3.4	0.3
2015年	7.0	4.5	1.2	1.3
	7.0	4.2	2.6	0.3
	6.9	4.0	3.0	-0.1
	6.9	4.1	2.9	-0.1
2016年	6.7	5.0	2.4	-0.8
	6.7	4.9	2.5	-0.7
	6.7	4.1	2.5	-0.5
	6.7	4.3	2.8	-0.5
2017年	6.9	5.3	1.3	0.3
	6.9	4.4	2.3	0.3
	6.9	4.5	2.3	0.2

(出所) 中国国家統計局、CEICより大和総研作成

産業別成長率

	実質GDP成長率	第一次産業	第二次産業	工業	建設業	第三次産業	交通運輸等	卸売・小売等	ホテル・飲食業	金融業	不動産業	その他サービス業	
2011年	1~3月	10.2	3.2	11.3	11.5	10.3	9.9	9.3	12.3	4.7	11.6	8.8	9.0
	1~6	10.1	2.9	11.1	11.4	10.0	10.1	9.3	12.3	4.8	11.0	8.7	9.7
	1~9	9.8	3.5	11.0	11.3	9.8	9.9	9.7	12.2	4.9	9.0	8.7	9.8
	1~12	9.5	4.2	10.7	10.9	9.7	9.5	9.7	12.5	5.1	7.7	7.4	9.6
2012年	1~3月	8.1	3.7	9.5	9.4	10.2	7.3	5.7	10.1	6.2	6.8	0.6	8.9
	1~6	7.9	4.3	8.7	8.5	9.8	7.6	5.9	10.0	6.1	8.0	1.2	8.9
	1~9	7.8	4.2	8.3	8.1	9.8	7.8	5.8	10.1	6.3	8.8	3.1	8.5
	1~12	7.9	4.5	8.4	8.1	9.8	8.0	6.1	10.3	6.5	9.4	4.7	8.1
2013年	1~3月	7.9	3.0	7.8	7.6	9.9	8.4	6.4	10.1	3.4	10.9	9.8	7.0
	1~6	7.7	2.8	7.7	7.4	9.8	8.3	6.3	10.3	3.5	10.3	8.6	7.4
	1~9	7.8	3.3	7.9	7.7	9.9	8.4	6.5	10.4	3.7	10.6	8.1	7.5
	1~12	7.8	3.8	8.0	7.7	9.7	8.3	6.6	10.5	3.9	10.6	7.2	7.5
2014年	1~3月	7.4	3.2	7.6	7.3	9.4	7.6	6.0	10.2	5.6	8.6	2.6	8.1
	1~6	7.4	3.7	7.7	7.4	9.5	7.6	6.4	10.1	5.8	8.2	2.5	8.3
	1~9	7.3	4.1	7.6	7.2	9.3	7.6	6.3	9.9	5.8	8.5	2.1	8.4
	1~12	7.3	4.1	7.4	7.0	9.1	7.8	6.5	9.7	5.8	9.9	2.0	8.5
2015年	1~3月	7.0	3.1	6.4	6.1	8.7	7.8	4.8	6.1	5.7	15.3	0.7	8.9
	1~6	7.0	3.5	6.3	6.1	7.0	8.1	4.1	6.0	5.7	17.0	2.5	8.8
	1~9	6.9	3.8	6.2	6.1	6.5	8.2	4.1	6.0	6.0	16.7	3.1	9.1
	1~12	6.9	3.9	6.2	6.0	6.8	8.2	4.1	6.1	6.2	16.0	3.2	9.3
2016年	1~3月	6.7	2.9	5.9	5.7	7.8	7.6	3.3	5.8	7.0	8.1	9.1	8.7
	1~6	6.7	3.1	6.1	5.9	7.5	7.5	4.6	6.2	6.9	6.7	8.9	8.9
	1~9	6.7	3.5	6.1	6.0	6.9	7.6	5.2	6.5	6.8	6.3	8.9	8.9
	1~12	6.7	3.3	6.1	6.0	6.6	7.8	6.5	6.7	6.9	5.7	8.6	9.3
2017年	1~3月	6.9	3.0	6.4	6.5	5.3	7.7	8.7	7.4	7.4	4.4	7.8	6.9
	1~6	6.9	3.5	6.4	6.5	5.3	7.7	9.2	7.3	7.2	3.8	6.9	7.0
	1~9	6.9	3.7	6.3	6.4	4.8	7.8	9.2	7.2	7.2	4.4	5.9	6.9

【参考】

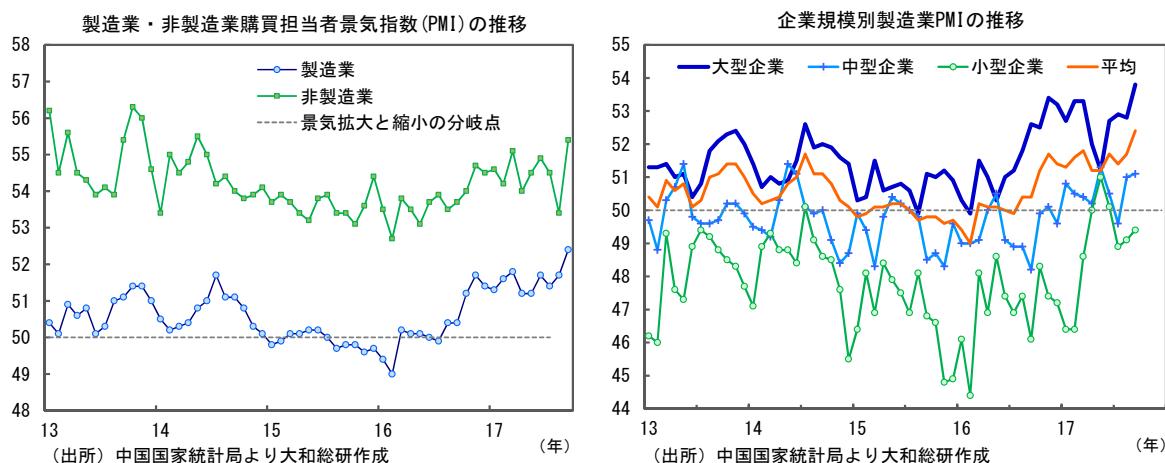
2016年構成比	100.0	8.6	39.8	33.3	6.7	51.6	4.5	9.6	1.8	8.3	6.5	20.5
----------	-------	-----	------	------	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	------

(出所) 中国国家統計局より大和総研作成

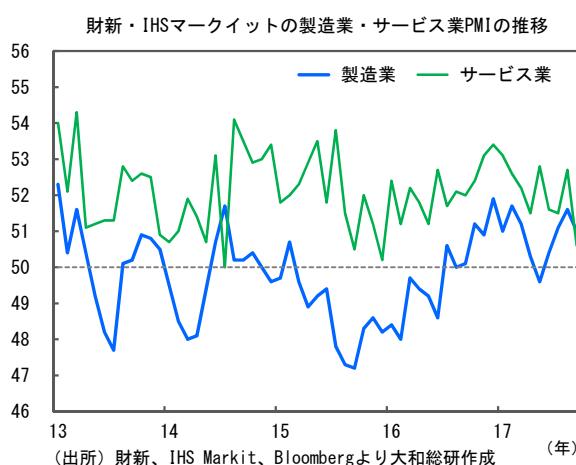
景況感

- ◆ 中国国家統計局と中国物流購入連合会が発表した 2017 年 9 月の製造業購買担当者景気指数 (PMI) は 52.4 と、8 月から 0.7pt 上昇した。景気拡大と縮小の節目である 50 を 14 ヶ月連續で上回った。非製造業 PMI は 55.4 と、8 月より 2.0pt 上昇した。
- ◆ 上記製造業 PMI を企業規模別に見ると、大型企業は 53.8 (8 月は 52.8)、中型企業は 51.1 (8 月は 51.0)、小型企業は 49.4 (8 月は 49.1) とすべての企業規模で上昇したが、小型企業は依然として 50 を下回っている。
- ◆ 中国メディアの財新と調査会社 IHS マークイットが発表した 9 月の製造業 PMI は 51.0 と、8 月 (51.6) より 0.6pt 低下し、国家統計局の調査とは対照的な結果となった。ただし、国家統計局の調査と比べてサンプル数が少なく、統計の振れが大きいことには留意が必要である。サービス業 PMI は 50.6 (8 月は 52.7) と、8 月より 2.1pt 低下した。

国家統計局の製造業・非製造業 PMI、企業規模別製造業 PMI



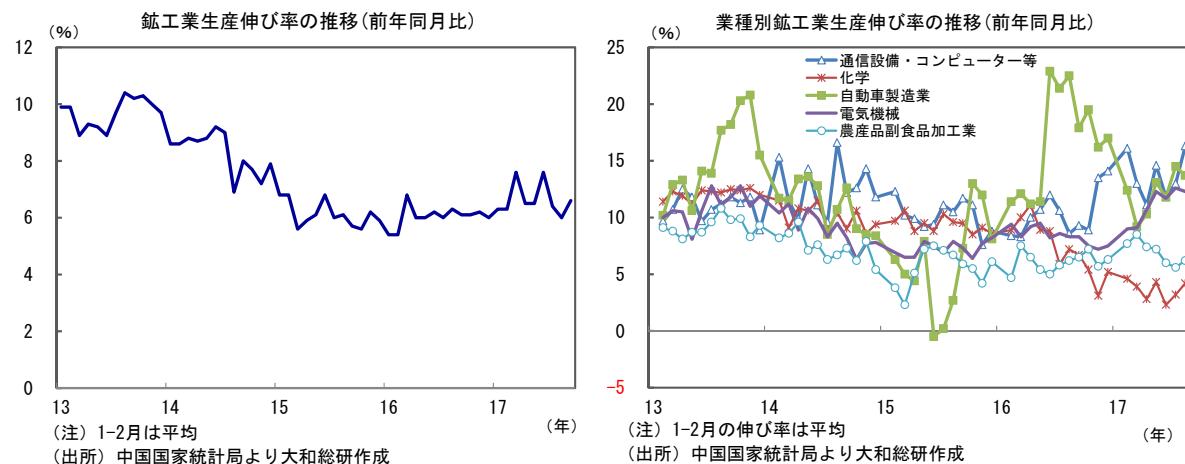
財新・IHS マークイットの製造業・サービス業 PMI



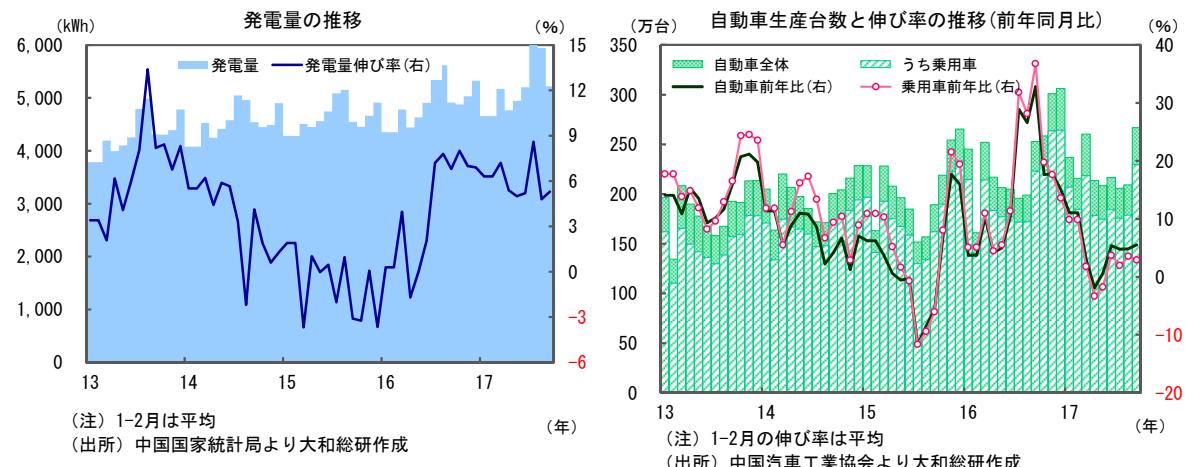
鉱工業生産

- ◆ 2017年9月の鉱工業生産は前年同月比6.6%増（8月は同6.0%増）、1～9月の前年同期比は6.7%増（1～8月は同6.7%増）であった。2016年の売上上位5業種の動向を見ると、通信設備・コンピューター等は前年同月比16.3%増、化学は同4.2%増、農產品副食品加工業が同6.2%増と伸び率が上昇した一方、自動車製造業は同13.7%増、電気機械は同12.3%増と伸び率が鈍化した。
- ◆ 9月の発電量は前年同月比5.3%増と8月の同4.8%増から伸び率が上昇した。1～9月の前年同期比は6.4%増（1～8月は同6.5%増）であった。
- ◆ 9月の自動車生産台数は267万台、前年同月比5.5%増と8月から伸び率が上昇した。乗用車生産台数は同2.9%増であった。1～9月の累計では、自動車は前年同期比4.8%増（1～8月は同4.7%増）、乗用車は同3.0%増（1～8月は同3.1%増）だった。

鉱工業生産



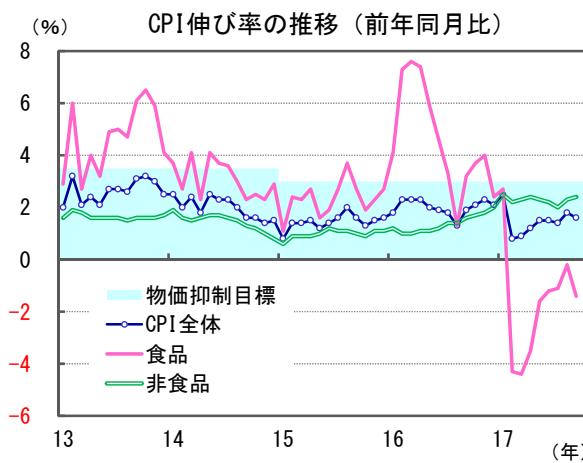
発電量、自動車生産台数



物価

- ◆ 2017年9月の消費者物価指数（CPI）は前年同月比1.6%上昇した。食品は同1.4%下落と下落幅が拡大した一方、非食品は同2.4%上昇と伸び率が上昇した。内訳を見ると、生鮮野菜は、8月：同9.7%上昇→9月：同1.0%低下、と4ヶ月ぶりにマイナスに転じた。肉類（8月：同8.4%下落→9月：同7.5%下落）は下落幅が縮小し、卵（8月：同4.3%上昇→9月：同3.7%上昇）は伸び率が低下した。
- ◆ 9月の工業製品出荷価格指数（PPI）は前年同月比6.9%上昇した。2月の同7.8%上昇をピークに上昇ペースは鈍化傾向にあったが、ここへきて伸び率が再加速している。うち石炭・石油などの採掘工業品価格は、8月：同18.2%上昇→9月：同17.2%上昇と伸び率が低下した一方、鉄鋼などの原材料工業品価格は、8月：同11.0%上昇→9月：同11.9%上昇、と伸び率が高まった。

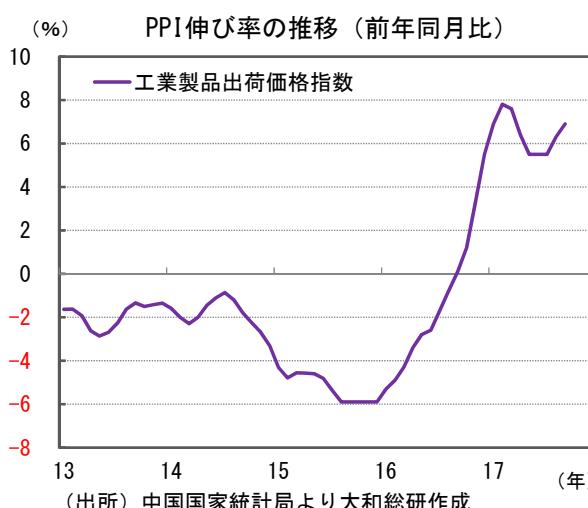
消費者物価



	CPI	食品	衣服	住居	生活用品 及び サービス	交通・ 通信	教育文化 ・娯楽	医療 保険	その他 商品・ サービス
2016/01	1.8	4.1	1.9	1.4	0.6	-1.6	1.7	2.9	-0.4
2016/02	2.3	7.3	1.6	1.3	0.3	-1.6	0.9	2.8	0.4
2016/03	2.3	7.6	1.5	1.3	0.4	-2.6	1.2	3.1	1.7
2016/04	2.3	7.4	1.5	1.4	0.5	-2.4	1.2	3.2	1.7
2016/05	2	5.9	1.5	1.6	0.6	-2.6	1.2	3.5	2.2
2016/06	1.9	4.6	1.4	1.6	0.6	-1.8	1.4	3.8	2.6
2016/07	1.8	3.3	1.4	1.6	0.6	-1.6	1.6	4.3	4.4
2016/08	1.3	1.3	1.3	1.5	0.4	-1.2	1.3	4.3	4.5
2016/09	1.9	3.2	1.2	1.5	0.3	-0.4	2.0	4.3	4.4
2016/10	2.1	3.7	1.3	1.8	0.4	-0.4	2.1	4.8	3.6
2016/11	2.3	4.0	1.4	2.0	0.3	0.0	2.2	4.4	4.2
2016/12	2.1	2.4	1.1	2.1	0.4	0.9	2.3	4.6	4.0
2017/01	2.5	2.7	1.1	2.3	0.6	2.3	3.3	5.0	4.8
2017/02	0.8	-4.3	1.2	2.5	0.5	1.7	1.8	5.1	3.1
2017/03	0.9	-4.4	1.3	2.4	0.7	2.0	2.3	5.3	2.9
2017/04	1.2	-3.5	1.3	2.4	0.8	1.8	2.6	5.7	3.4
2017/05	1.5	-1.6	1.3	2.5	1.0	1.1	2.6	5.9	2.9
2017/06	1.5	-1.2	1.4	2.5	1.1	0.1	2.5	5.7	2.8
2017/07	1.4	-1.1	1.4	2.5	1.1	-0.2	2.5	5.5	1.3
2017/08	1.8	-0.2	1.3	2.7	1.3	0.7	2.5	5.9	1.4
2017/09	1.6	-1.4	1.3	2.8	1.4	0.5	2.3	7.6	1.4

(出所) 中国国家統計局より大和総研作成

生産者物価



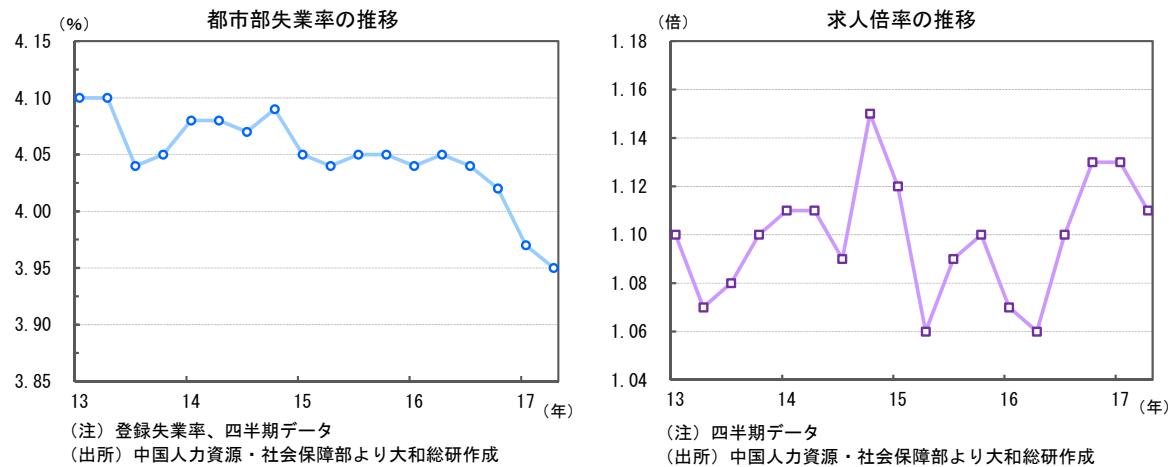
工業製品出荷価格指数	工業製品出荷価格指数の内訳（前年同月比、%）									
	生産財価格					生活財価格				
	採掘 工業品	原材料 工業品	加工 工業品	食品	衣類	日用品	耐久 消費財			
2016/01	-5.3	-6.9	-19.8	-9.1	-4.9	-0.5	0.2	0.7	-1.2	-1.6
2016/02	-4.9	-6.5	-18.2	-8.9	-4.5	-0.4	0.4	0.7	-1.0	-1.7
2016/03	-4.3	-5.7	-16.3	-8.8	-3.6	-0.2	0.7	0.8	-0.6	-1.7
2016/04	-3.4	-4.5	-13.0	-7.7	-2.5	-0.2	0.7	0.7	-0.5	-1.7
2016/05	-2.8	-3.7	-9.6	-7.2	-1.8	-0.2	0.6	0.7	-0.3	-1.7
2016/06	-2.6	-3.5	-8.2	-6.1	-2.0	-0.1	0.6	1.0	0.0	-1.7
2016/07	-1.7	-2.3	-5.6	-4.5	-1.2	0.0	0.2	1.1	0.6	-1.4
2016/08	-0.8	-1.0	-3.2	-2.3	-0.4	0.0	0.1	0.8	0.7	-1.3
2016/09	0.1	0.1	2.1	-0.2	0.1	0.0	0.3	0.7	0.5	-1.5
2016/10	1.2	1.6	7.9	1.9	0.9	0.1	0.6	0.9	0.2	-1.2
2016/11	3.3	4.3	14.8	5.8	2.9	0.4	0.9	1.1	0.7	-1.0
2016/12	5.5	7.2	21.1	9.8	5.1	0.8	1.3	1.3	0.8	-0.8
2017/01	6.9	9.1	31.0	12.9	5.9	0.8	1.3	1.1	1.5	-0.6
2017/02	7.8	10.4	36.1	15.5	6.6	0.8	1.1	1.3	1.5	-0.6
2017/03	7.6	10.1	33.7	14.9	6.5	0.7	0.7	1.3	1.4	-0.4
2017/04	6.4	8.4	28.3	13.0	5.2	0.7	0.5	1.5	1.4	-0.1
2017/05	5.5	7.3	22.7	11.1	4.6	0.6	0.3	1.5	1.1	0.2
2017/06	5.5	7.3	18.3	10.0	5.4	0.5	0.1	1.3	1.0	0.1
2017/07	5.5	7.3	15.8	9.3	5.8	0.5	0.4	1.2	0.6	0.0
2017/08	6.3	8.3	18.2	11.0	6.4	0.6	0.7	1.4	0.8	0.0
2017/09	6.9	9.1	17.2	11.9	7.3	0.7	0.7	1.2	1.3	0.0

(出所) 中国国家統計局より大和総研作成

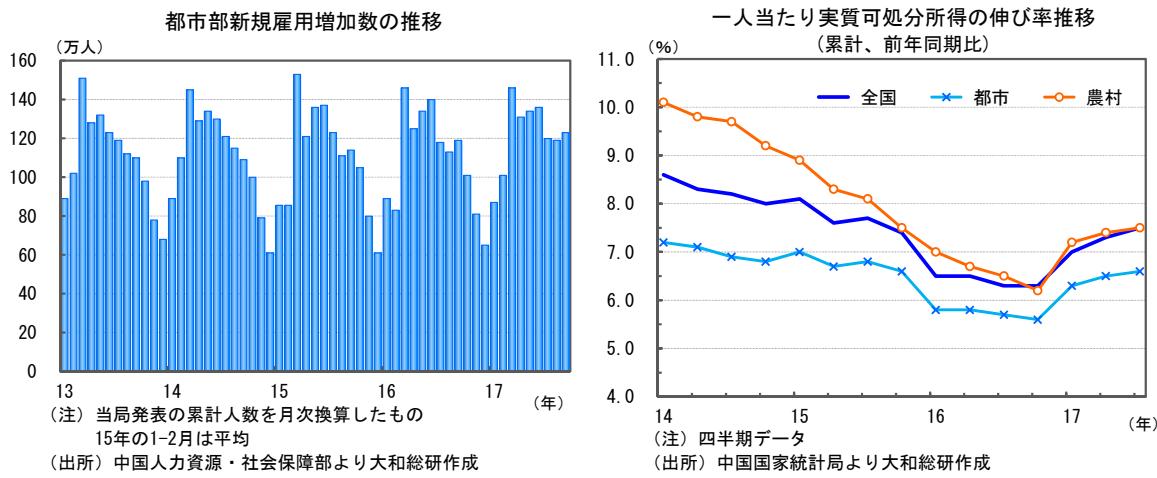
雇用と所得

- ◆ 2017年1~9月の都市部新規雇用増加数は1,097万人だった(全人代で打ち出された2017年年間の目標は1,100万人)。
- ◆ 1~9月の実質可処分所得は、都市部は前年同期比6.6%増、農村部は同7.5%増であった。1~6ヶ月期のそれぞれ同6.5%増、同7.4%増から上向いた。

失業率と求人倍率



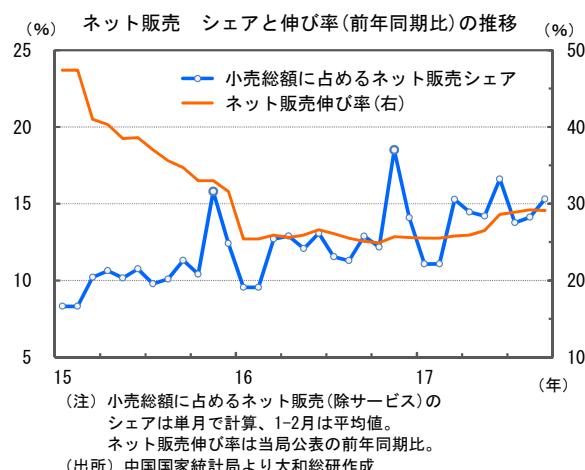
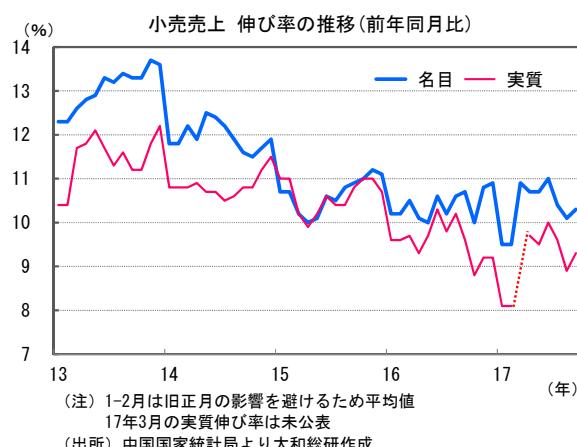
都市部新規雇用増加数の推移、一人当たり実質可処分所得



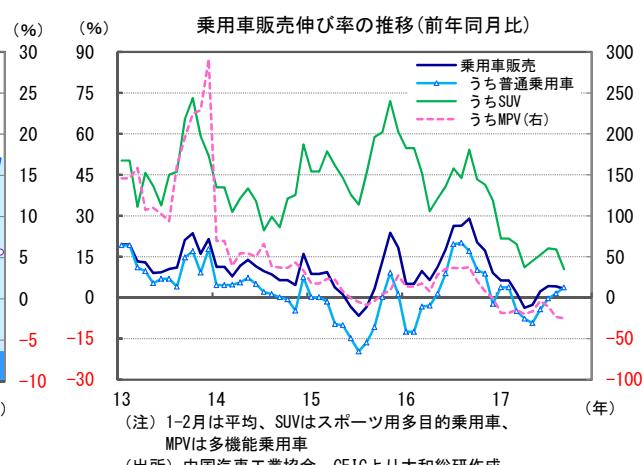
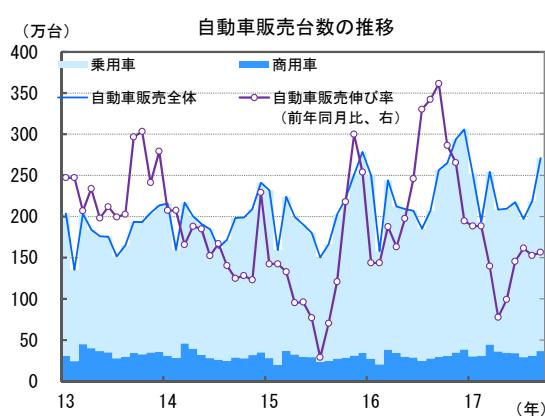
小売

- ◆ 2017年9月の小売売上（名目）は前年同月比10.3%増と、8月の同10.1%増から伸び率が上昇した。9月の小売売上（実質）も同9.3%増と、8月の同8.9%増から伸び率が上昇した。
- ◆ 1~9月のネット販売（除サービス）は前年同期比29.1%増と、1~8月の同29.2%増から若干伸び率が低下した。
- ◆ 中国汽車工業協会によると、9月の自動車販売台数は、前年同月比5.7%増の270.9万台と伸び率が上昇した。1~9月の累計自動車販売台数は、前年同期比4.5%増の2,022.5万台であった。9月の乗用車販売台数は前年同月比3.3%増の234.3万台、1~9月の累計では前年同期比2.4%増の1,715.5万台であった。車種別（以下、9月単月、前年同月比）では、MPV（多機能乗用車）が25.1%減と減少幅が拡大し、SUV（スポーツ用多目的車）では10.5%増と伸び率が低下した一方、普通乗用車が3.7%増と伸び率が上昇した。

小売売上の推移



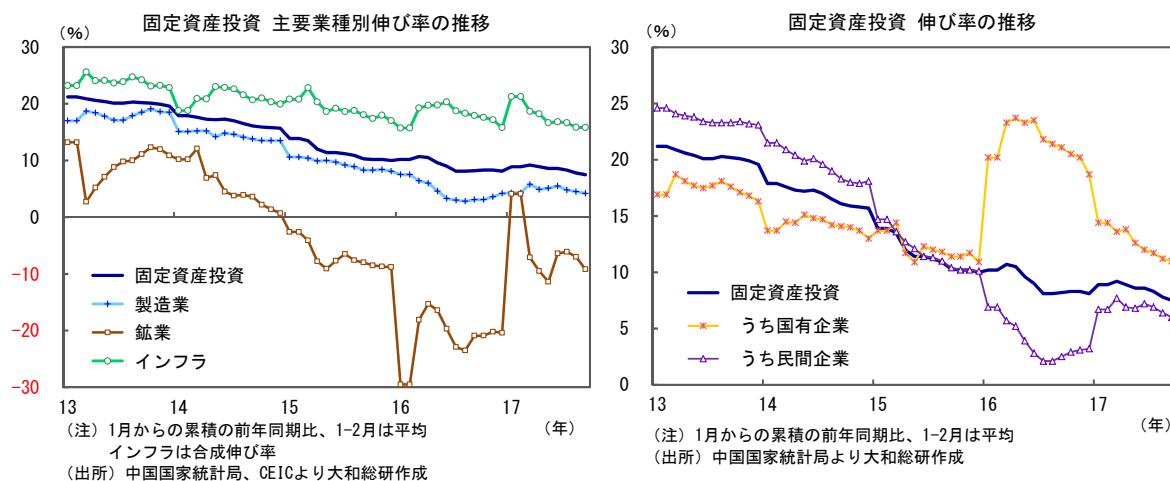
自動車販売



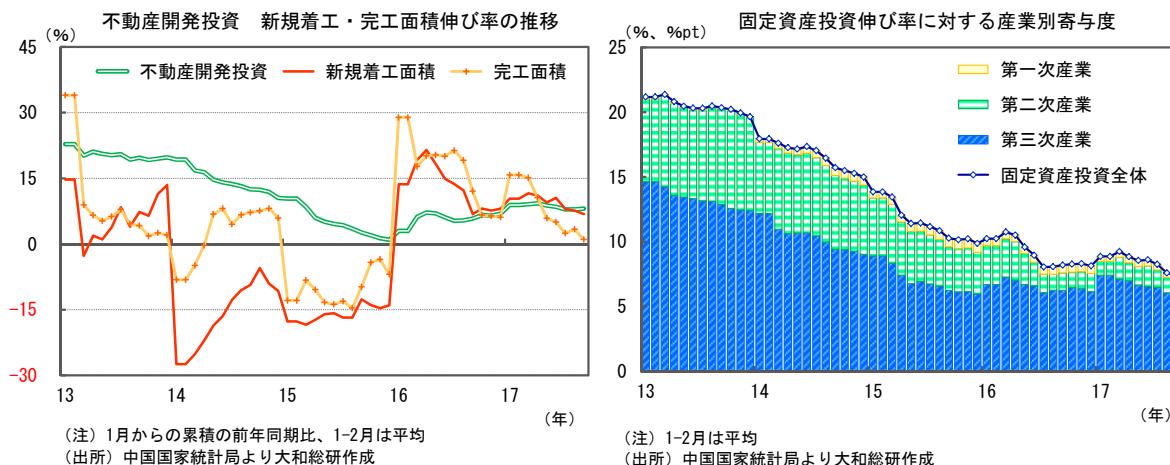
投資

- ◆ 2017年1~9月の固定資産投資は前年同期比7.5%増と、1~8月の同7.8%増から伸び率が低下した。全体の4割弱を占める国有部門は、1~9月は同11.0%増と1~8月の同11.2%増から伸び率が低下した。全体の6割強を占める民間部門でも、1~9月は同6.0%増と1~8月の同6.4%増から伸びが低下した。
- ◆ 1~9月の固定資産投資を主要業種別に見ると、鉱業が前年同期比9.2%減(1~8月は同7.0%減)と下落幅が拡大し、製造業は同4.2%増(1~8月は同4.5%増)と伸び率が低下し、インフラは同15.8%増(1~8月は同15.8%増)と変化がなかった。
- ◆ 1~9月の不動産開発投資は前年同期比8.1%増と、1~8月の同7.9%増から伸び率が上昇した。不動産新規着工面積・完工面積は、それぞれ同6.8%増、同1.0%増であった。

固定資産投資



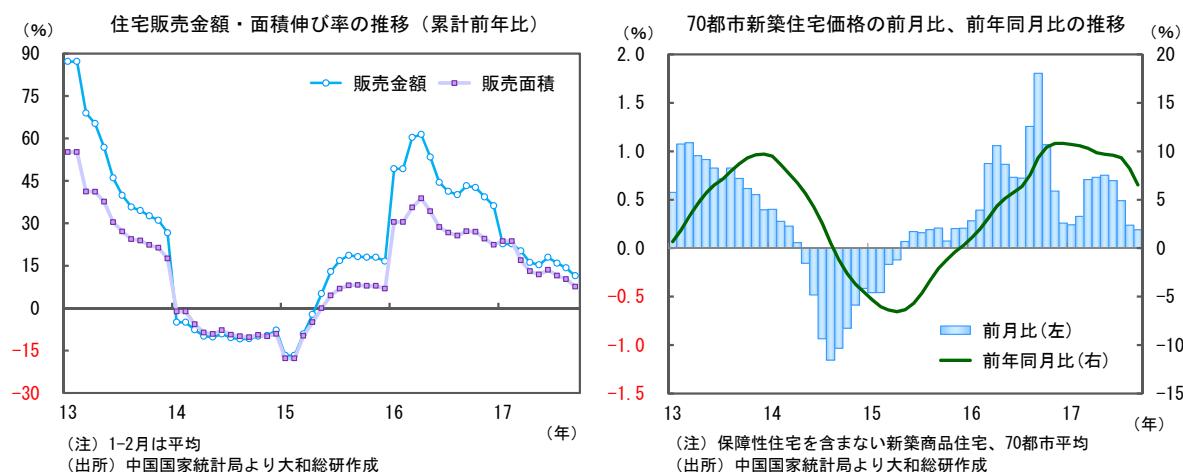
不動産開発投資、固定資産投資産業別寄与度



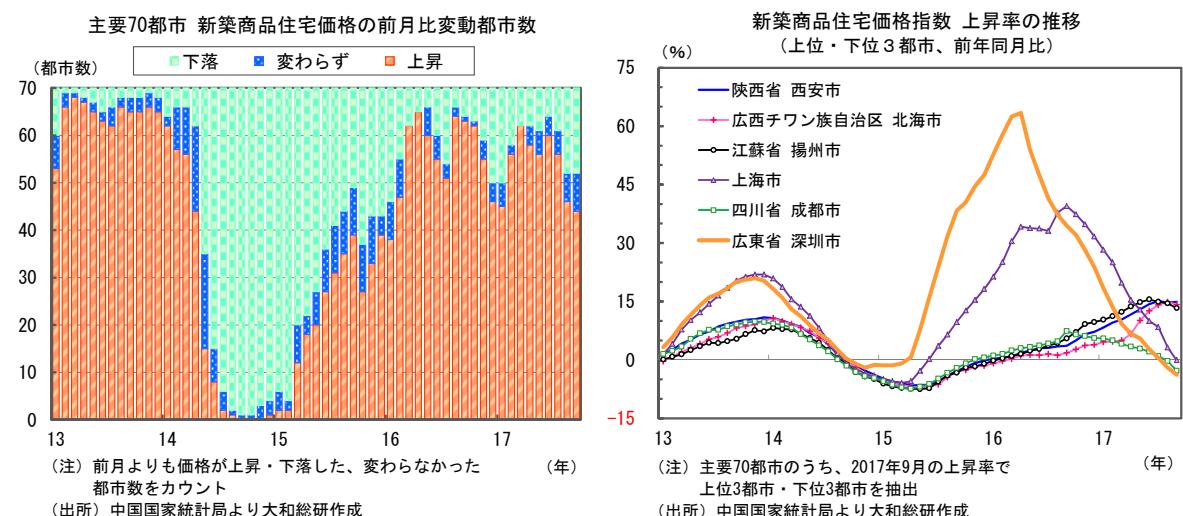
住宅

- ◆ 2017年1~9月の住宅販売金額は前年同期比11.4%増（1~8月は同14.2%増）と、16年の前年比36.2%増から大幅に減速している。住宅販売面積も前年同期比7.6%増（1~8月は同10.3%増）と、16年の前年比22.4%増から減速している。
- ◆ 9月の主要70都市新築商品住宅価格（平均）は、前年同月比6.5%上昇、前月比0.2%上昇となった。前月比で上昇したのは44都市（8月は46都市）、下落したのは18都市（8月は18都市）、変化がなかったのは8都市（8月は6都市）となった。
- ◆ 主要70都市の新築商品住宅価格上昇率の上位3都市は、陝西省西安市（前年同月比14.9%上昇）、広西チワン族自治区北海市（同14.2%上昇）、江蘇省揚州市（同13.3%上昇）であった。一方、下位3都市は、広東省深圳市（同3.8%下落）、四川省成都市（同2.8%下落）、上海市（同0.1%下落）となった。以前は下落が続いている東北部の都市などでは住宅価格が堅調に推移している。大都市部では住宅価格抑制策が功を奏し、都市ごとの上昇率のばらつきが小さくなっている。

住宅販売金額・面積の伸び率推移、新築住宅価格の伸び率推移



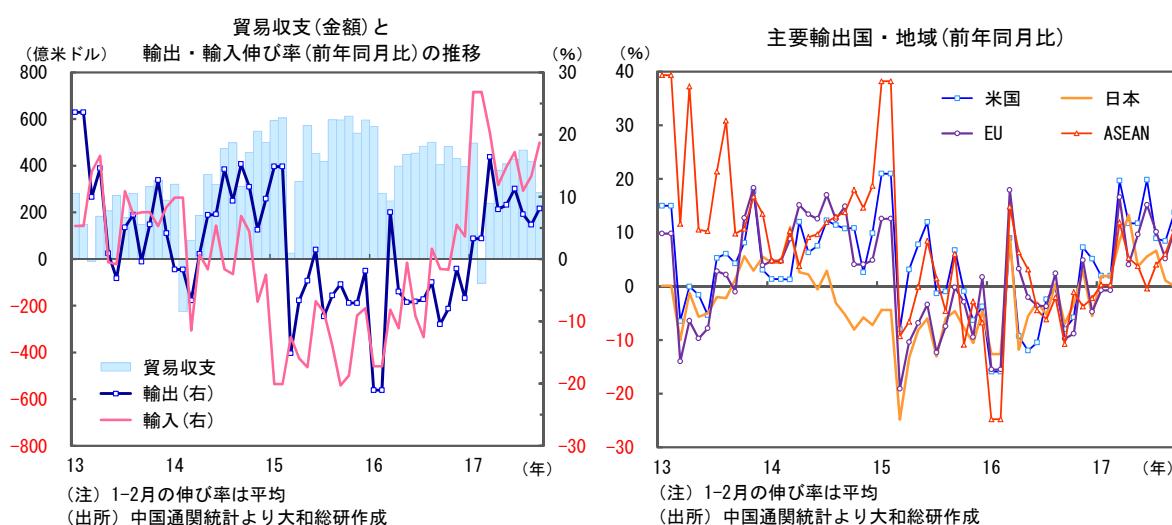
新築商品住宅価格（主要70都市の前月比変動都市数と、前年比で見る上位・下位3都市）



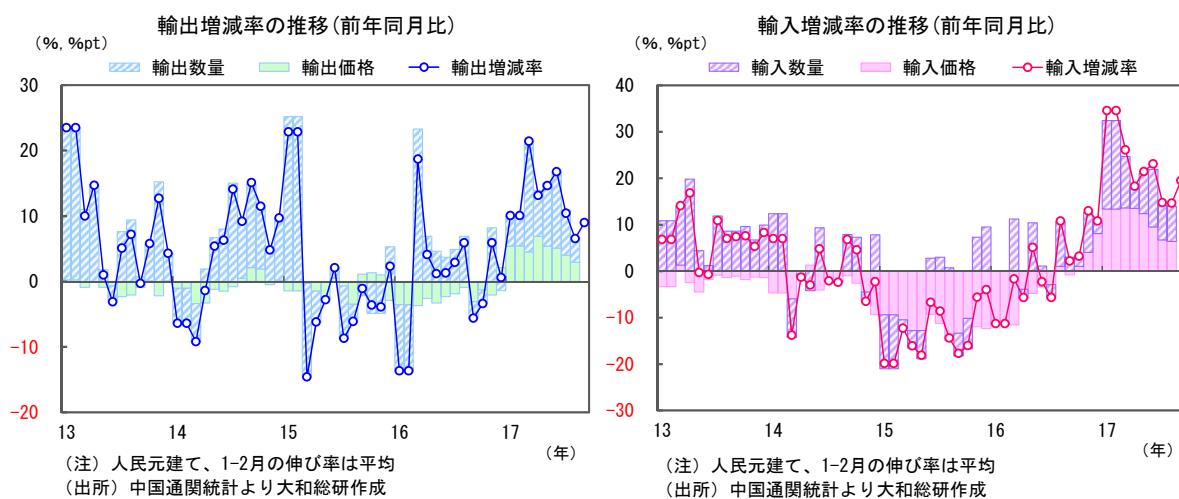
貿易

- ◆ 2017年9月のドル建て輸出は前年同月比8.1%増、輸入は同18.7%増であった。輸出を主要貿易相手国・地域別に見ると、日本は、8月：同1.1%増→9月：同0.0%増と伸び率が低下した一方、米国は、8月：同8.4%増→9月：同13.8%増、EUは、8月：同5.1%増→9月：同10.4%増、ASEANは、8月：同6.0%増→9月：同10.8%増と伸び率が上昇した。貿易収支は285億米ドルの黒字（8月は419億米ドルの黒字）であった。
- ◆ 1~9月のドル建て輸出は前年同期比7.5%増、輸入は同17.3%増、貿易収支は2,956億米ドルの黒字だった。貿易黒字は前年同期比で22.0%縮小している。
- ◆ 9月の人民元建て輸出伸び率は前年同月比9.0%増、輸入は同19.5%増、1~9月の輸出は前年同期比12.4%増、輸入は同22.3%増となった。

輸出入の推移（ドル建て）、主要輸出国・地域



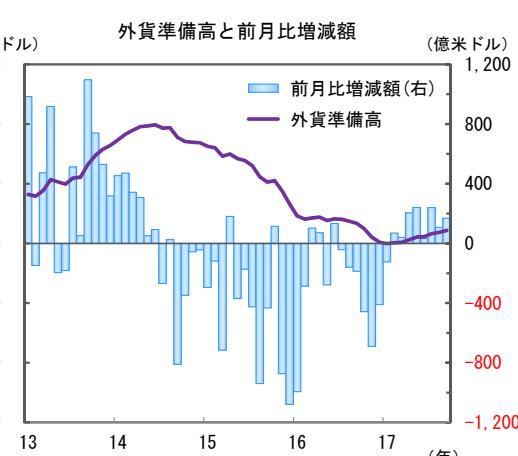
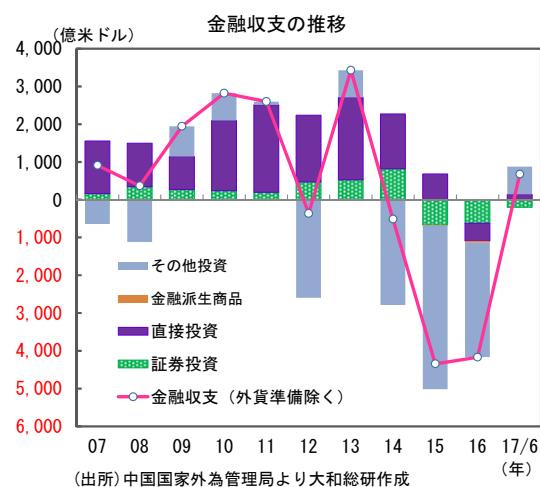
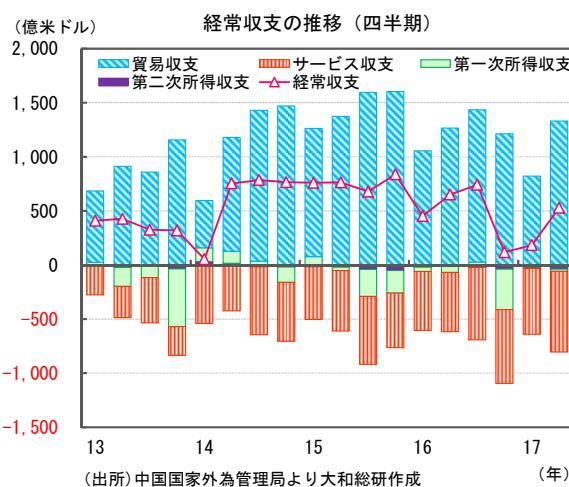
輸出入の推移（人民元建て）、価格・数量



国際收支

- ◆ 2017年4~6月期の経常収支は509億米ドルの黒字だった。貿易収支が1,321億米ドルの黒字と増加傾向にある一方、サービス収支が743億米ドルの赤字と赤字幅が拡大したが、前者の増加がより大きいため、経常収支の黒字幅が拡大した。
- ◆ 1~6月期の金融収支（外貨準備除く）は679億米ドルと黒字であった。資本規制が功を奏した結果、長らく赤字が続いていたその他投資が732億米ドルの黒字に転じた。
- ◆ 1~9月の中国から海外への対外直接投資（非金融）は780億米ドルだった。前年同期比は41.9%減と、17年に入り大幅なマイナスが続いている。
- ◆ 1~9月の対内直接投資（金融+非金融）は815億米ドルだった。前年同期比は14.3%減と、16年11月からマイナスが続いている。
- ◆ 9月末の外貨準備高は3兆1,085億米ドルと、8ヶ月連続で前月比増加した。その背景の一つに上記対外直接投資の減少がある。

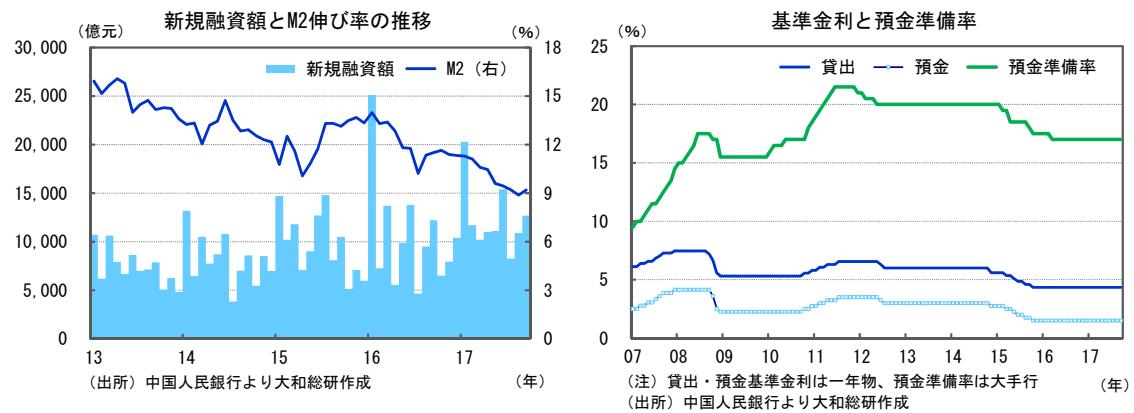
経常収支、対内・対外直接投資、外貨準備高



金融

- ◆ 2017年9月末のM2伸び率は前年同月比9.2%、8月末の同8.9%から伸び率が上向いた。
- ◆ 1~9月の社会資金調達金額（社会融資総量）は前年同期比16.4%増と、1~8月の同17.8%増から伸び率が低下した。9月末の社会資金調達金額残高は171兆2,339億元で、前年同月比13.0%増と、8月末の同13.1%増から伸び率が低下した。

M2と金利



社会資金調達金額（社会融資総量）の増加額と残高

	全体	社会融資総量の増加額（億元）						
		内訳						
		人民元貸出	外貨貸出	委託貸出	信託貸出	未割引の銀行引受手形	企業債券	非金融企業の域内株式発行
2007年	59,664	36,324	3,864	3,371	1,703	6,702	2,285	4,333
2008年	69,804	49,042	1,947	4,261	3,145	1,065	5,523	3,325
2009年	139,105	95,943	9,265	6,780	4,364	4,607	12,369	3,352
2010年	140,191	79,450	4,853	8,749	3,864	23,347	11,060	5,786
2011年	128,286	74,715	5,712	12,964	2,032	10,272	13,659	4,377
2012年	157,631	82,038	9,163	12,838	12,846	10,498	22,551	2,508
2013年	173,168	88,917	5,849	25,466	18,403	7,756	18,112	2,219
2014年	164,134	97,815	3,554	25,069	5,175	-1,281	23,816	4,350
2015年	154,063	112,693	-6,427	15,911	434	-10,567	29,388	7,590
2016年	178,022	124,372	-5,640	21,854	8,593	-19,531	29,993	12,416
2017年1~9月	156,660	114,599	-305	6,845	17,859	4,658	1,582	6,410
前年同期比(%)	16.4	14.6	純減⇒純減	-54.7	272.5	純減⇒純増	純増⇒純減	-33.2

	全体	社会融資総量の残高（億元）						
		内訳						
		人民元貸出	外貨貸出	委託貸出	信託貸出	未割引の銀行引受手形	企業債券	非金融企業の域内株式発行
2007年	321,326	251,580	11,411	14,407	3,732	11,562	8,034	13,564
2008年	379,765	298,625	11,993	18,599	6,877	12,626	14,358	15,965
2009年	511,835	392,095	18,649	25,258	11,238	17,234	26,734	18,886
2010年	649,869	470,121	21,614	36,422	15,103	40,586	38,042	24,722
2011年	767,478	545,811	24,445	44,143	17,142	50,651	51,814	29,098
2012年	914,186	627,682	31,095	51,692	29,999	61,136	74,819	31,601
2013年	1,074,575	716,813	33,333	72,214	48,329	68,839	92,925	33,718
2014年	1,228,591	814,300	34,700	93,300	53,500	68,660	116,900	37,690
2015年	1,382,824	927,521	30,193	110,099	54,539	58,544	146,258	45,251
2016年	1,559,933	1,051,892	26,310	131,953	63,132	39,005	179,167	57,722
2017年9月末	1,712,339	1,166,460	24,845	138,795	80,616	43,681	182,141	64,299
前年同期比(%)	13.0	13.5	-5.7	10.8	35.9	14.8	5.2	17.1

(注) 社会融資総量とは、金融システムから経済に供給された資金のネット増加額（または減少額）

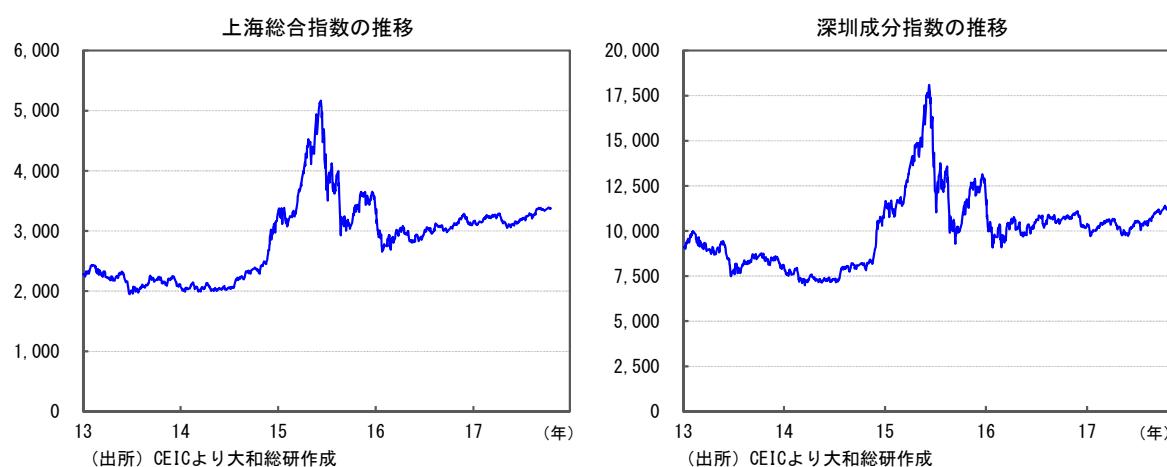
内訳と合計は一致しない。社会融資総量の増加額に関しては、月次金額の合計値を使用

(出所) 中国人民銀行より大和総研作成

株価と為替

- ◆ 2017年9月の上海総合指数、深圳成分指数はそれぞれ月間0.4%下落、2.5%上昇だった。
- ◆ 9月末の人民元の対米ドルレートは6.6369元／ドルと月間0.5%の元安となった。10月23日時点の対米ドルレートは6.6205元／ドルと9月末比で0.2%元高であった。
- ◆ BISの9月（月中平均）の人民元の実質実効為替レートは、前月比1.4%の元高、前年同月比は変わらずであった。

株価指数の推移



人民元の対主要国際通貨為替レート、実質実効為替レート

